

群馬県立富岡実業高等学校 学校評価一覧表 ① (令和3年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部不審	改善策	自己評価	外部不審	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各学科コースの専門教育に生徒の85%以上が満足している。	ア 普通科目と専門科目の座学や実験実習の授業改善を図り、基礎学力、専門的知識や技術・技能を基礎から何度も繰り返し確実に身に付けさせる。また、外部機関との連携に努め、積極的に活用する。	A	A	コース・部門別や選択科目などの授業に生徒の94%が満足している。外部機関等との連携を積極的に実施するなど、授業の形態をさらに工夫する。	A	A	少人数制の授業形態を生徒の94%がその効果を認めており、保護者は96%が専門教科の指導内容に満足している。さらに授業改善を推進する。
		② 地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が80%以上である。	イ 地域貢献活動として行政や地域の小・中学校、各種団体との連携・交流を行い、活発に情報発信を行う。地域活性化活動等は、普通科・農業科・工業科が協力して推進する。	A	A	地域交流・連携の大切さを考える生徒は91%、参加した又は予定している生徒は36%で、コロナ禍の影響で昨年よりも更に減少した。活動を継続するとともに、さらに生徒が参加しやすい交流や形態を工夫する。	A	A	地域交流活動の大切さを考える生徒は93%、保護者は86%であり、地域交流活動に参加した生徒はコロナ禍の影響で昨年よりも更に減少し35%であった。また、保護者の95%が活動を評価している。
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	ウ 基礎・基本を重視し、繰り返し学べる学習指導を充実させる。また、生徒会・農業クラブ・各部活動・研究部活動や生徒が意欲的に参加できる行事等を工夫する。	A	A	富実を選んで良かったと回答した生徒は91%、保護者は96%で、昨年度より増加した。行事に満足している生徒は昨年より10%増加し83%となった。さらに各部との連携を図り、生徒が満足できる活動を模索する必要がある。	A	A	富実を選んで良かったと回答した生徒は96%、保護者は95%となっており、行事に満足している生徒は80%だった。富実を選んで良かったと思えるよう、教育活動の内容をさらに工夫・改善する。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業がわかりやすい」と、生徒の75%以上が答えている。	エ 生徒の特性、学習状況や理解度等を把握したうえで、授業改善に取り組む。学力定着に課題のある生徒への指導を充実させる。	A	A	授業がわかりやすいと回答した生徒は88%で、昨年度より9%増加した。さらに授業改善を重ね、よりわかりやすい授業を工夫する必要がある。	A	A	授業がわかりやすいと回答した生徒は89%、昨年度より10%増加し目標値に達した。また、丁寧に教えてくれると評価している生徒も昨年度より6%増加し89%に達した。研修をとおしてさらに授業改善に努めたい。
		⑤ 資格取得に向けた指導に、生徒の85%以上が満足している。	オ 生徒・保護者に対して資格取得の意義を伝え、補習等を活用して受験率と合格率を高める。	A	A	生徒の92%が資格取得指導に満足している。工夫・改善を図りながら継続指導を実施する。	A	A	生徒の評価は87%、保護者は95%で目標値を達成している。今後もさらなる資格取得向上を目指して継続する。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥ 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。	カ 授業規律の確立を土台に、主体的・対話的な学びの導入やICTの活用等によって生徒の意欲を引き出す指導を実践する。	A	A	意欲的に学習に取り組んでいると回答した生徒は98%で、昨年度より9%増加した。主体的・対話的な学びの導入やICTの活用を推進する。	A	A	生徒の評価は昨年度より2%増加し、91%である。配布された端末を有効に活用し主体的・対話的な学びを推進する。
		⑦ 自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が、70%以上である。	キ 授業・家庭学習・朝学習・補習等で基礎学力を向上させる。将来の進路目標に向け基礎基本の習得、資格取得および生きて働く専門性を身に付けさせる。	B	B	目標をもって勉強し学力を身に付けていると回答した生徒は79%である。朝学習や放課後の補習に取り組んでいる生徒が昨年度より14%増加し81%であった。更に学習習慣を身に付ける工夫が必要である。	B	B	目標を持って勉強し学力を身に付けていると回答した生徒が78%と目標を達成したが、学年に差がある。今年度より朝学習を始業後に実施し、学習指導の定着を図る。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧ 学校は安全であり、安心して学校生活を送っていると感じている生徒が85%以上である。	ク 職員会議や学年会で生徒に関する情報交換を緊密に行い、生徒の状況把握と情報の共有を図り、問題行動やいじめ問題の未然防止に努める。また、職員全体であきらめない指導を行う。	A	A	生徒の評価は昨年度より3%上昇し、87%となった。相談しやすい雰囲気があると答えた生徒も19%増加し91%になった。生徒が相談しやすい環境をより一層整える必要がある。	A	A	生徒の評価は昨年度より3%上昇し、87%となった。生徒が不安に感じている要因をきめ細かに把握し対応する必要がある。
		⑨ いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止に向け積極的に取り組む生徒が85%以上である。	ケ 生徒会が中心となり、いじめ防止の年間計画を立案し、クラスでの話し合い、標語づくり、いじめ防止フォーラムの成果を生かした活動等、生徒主体の活動を充実させる。	A	A	生徒の評価は昨年度より8%上昇し、91%となった。いじめをしない許さないクラス、学年、学校づくりを推進するため、生徒主体の取組をさらに充実させたい。	A	A	人の嫌がることをしないよう意識している生徒は95%である。また、生徒主体の「いじめ防止活動」に参加している生徒は昨年度より13%増加し84%だった。生徒会が中心となり「いじめ防止活動」をさらに工夫する。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩ 欠席率が1.2%以下、遅刻率が0.5%以下である。 ⑪ 毎日朝食を摂るなど、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	コ 卒業後の進路実現を見据え、家庭と連携を取り、基本的生活習慣の確立を図る。 サ 規則正しい生活を送るために、保健便りやH.R、授業を通じて睡眠や朝食の大切さを理解し実践するよう意識させる。	C	C	欠席率は1.3%、遅刻率は0.7%だった。今後は家庭と連絡を取りながらこの状態を改善していきたい。 毎日朝食を食べると答えた保護者が89%、きちんと睡眠をとると答えた生徒が4%上昇し83%だった。規則正しい生活を意識させたい。	C	C	長期欠席等により欠席率は1.3%、遅刻率は0.8%となった。職員間の情報共有と併せて家庭や関係機関と連携し、状況改善に努める。 毎日朝食を摂っていると答えた生徒が89%、きちんと睡眠をとると答えた生徒が昨年度より8%増加し87%だった。規則正しい生活を促すよう、保護者にも働きかける。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫ 進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	シ 進路講演会、進路相談会、インターンシップの内容を工夫し、進路意識の高揚に繋げる。	B	A	進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%である。今後も役立つ行事を継続する。	B	A	進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%と目標を達成した。生徒に身近でわかりやすい行事を実施する。
		8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬ 自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が75%以上である。 ⑭ 自分の適性について理解し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	ス 適性検査や基礎力診断テスト等の結果を効果的に活用するための研修会等を充実させる。外部の人材を有効に活用し、内面の刺激を図る。 セ 適性検査や進路ワークブック・進路手帳を活用し自己理解を深めさせるとともに体験活動等を工夫し、積極的に進路学習に取り組ませる。	A	A	自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が88%である。今後も基礎力診断テスト等の結果を活用するための研修会等を充実させる。 積極的に取り組んでいると評価した生徒が昨年度より5%上昇し86%であった。さらに生徒への働きかけを増やし教材等の活用を図る。	A	A
	9 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮ PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が、70%以上である。 ⑯ 授業公開、学校からのメールや配付物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の70%以上が学校の様子を理解できている。	ソ 保護者が参加しやすい機会として、各科や各学年単位での行事等を検討する。 タ 授業公開を年3回実施、ホームページの定期的な更新、学校通信の発行及びGSNメールで学校情報を積極的に発信する。	C	C	コロナ禍のため殆どのPTA活動や学校行事等が中止となり、昨年度より23%上昇し61%である。PTA役員会でPTA総会の充実に向けた取り組みを確認したい。 学校での生活をだいたい把握している保護者は82%、富実の記事やホームページを見たことがある保護者は82%となった。GSNメールなどを通じた情報発信をさらに充実させたい。	C	C	多くの行事が中止となったため、行事に積極的に参加したと答えた保護者は55%となった。PTA総会等内容の改善を図る。
10 ICTを活用した指導を行っていますか。		⑰ ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。 ⑱ ICTを活用した通知に、生徒・保護者の70%以上が満足している。	チ ICTを効果的に活用するための研修会等を充実させる。また、授業アンケートにおいて新たな項目を設定し、随時点検する。 ツ ICTを活用し、保護者・生徒へ連絡やアンケート等を実施する。	A	A	ICTを活用した授業に満足していると回答した生徒は87%であった。さらに授業改善を重ね、よりわかりやすい授業を工夫する。 ICTを活用した通知に満足していると回答した生徒は81%、保護者が87%であった。さらにICTを有効活用できるよう研修会等を充実させる必要がある。	A	A	ICTを活用した授業に満足していると回答した生徒は83%であった。さらに授業改善を重ねる必要がある。 ICTを活用した連絡に満足していると回答した生徒は81%、保護者が83%であった。ICTの活用を検討・工夫する。

(目標値の)

A：十分達成できた 105% B：達成できた 100% C：もう少しで達成できた 80% D：達成できなかった 80%以下

80% ⇒ 80%×1.05=84% 80%×1.00=80%
70% ⇒ 70%×1.05=73.5% 70%×1.00=70%

80%×0.80=64% 80%×0.80=64%
70%×0.80=56% 70%×0.80=56%

63%～ 63%～
55%～ 55%～